

1 ワークショップ実施概要

(1) 事業の背景と目的

札幌市では、超高齢社会の進展に伴う今後の火葬場や墓地の需要増に対応するため、「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画」を策定し、さまざまな取り組みを実施している。この計画では、葬送（人が亡くなってから葬儀と火葬を行い、遺骨を納めた墓や納骨堂などの管理をしていく一連の行為をいう。）について考え行動する市民の意識を醸成することを基本目標の第一に掲げており、葬送に対する市民ニーズの把握や、葬送に関する情報提供を進めることとしている。そのような中、市民を対象に行った意識調査では、「終活に関心はあるものの行動に移していない人が多い」という実態が示されている。

これらを踏まえ、終活に取り組もうとする市民に向けた情報提供のあり方や行政サービスの方向性などを探るため、終活に関心のある市民の声を収集する機会としてワークショップを開催した。

(2) 実施結果・スケジュール

市内 10 区においてワークショップを開催した。

- ・延申込数：151 名、延参加人数：122 名、欠席者：29 名
- ・期 間：令和 6 年 9 月 6 日（金）～11 月 19 日（火）
- ・時 間：14 時 00 分～16 時 00 分（10 区共通）

回	日付	開催区	会場	参加者数
1	9 月 6 日（金）	中央区	中央区民センター 視聴覚室（2 階）	14 名
2	9 月 10 日（火）	白石区	白石区民センター 視聴覚室（5 階）	7 名
3	9 月 13 日（金）	東区	東区民センター 講義室（3 階）	5 名
4	9 月 30 日（月）	北区	北区民センター 講義室（2 階）	17 名
5	10 月 4 日（金）	厚別区	厚別区民センター 視聴覚室（2 階）	19 名
6	10 月 22 日（火）	豊平区	豊平区民センター 第 1・2 会議室（3 階）	12 名
7	11 月 1 日（金）	清田区	清田区民センター 視聴覚室（1 階）	10 名
8	11 月 5 日（火）	南区	南区民センター 第 1・2 会議室（1 階）	9 名
9	11 月 12 日（火）	西区	西区民センター 視聴覚室（3 階）	17 名
10	11 月 19 日（火）	手稲区	手稲区民センター 視聴覚室（3 階）	12 名

2 参加者募集

(1) 募集チラシ制作

《 募集チラシ (A4、表カラー 裏1色) 》



プログラム 全日無料 14:00～16:00

13:45 開場 → 14:00 (約30分) ミニレクチャー 「生きがい終活とエンディングノート」 → 休憩 → (約60分) グループディスカッション 終活に関する不安や疑問を解消しよう → 16:00 閉場

開催スケジュール タイムスケジュールはすべての会場共通で、上記の通りです。

中央区 9月6日 中央区長マンション 2階 研修室 10:00～12:00	白石区 9月10日 1 石川長マンション 5階 研修室 10:00～12:00	東区 9月13日 東区長マンション 3階 研修室 10:00～12:00	北区 9月30日 北区長マンション 2階 研修室 10:00～12:00	厚別区 10月4日 厚別区長マンション 2階 研修室 10:00～12:00
豊平区 10月22日 豊平区長マンション 2階 研修室 10:00～12:00	清田区 11月1日 清田区長マンション 1階 研修室 10:00～12:00	南区 11月5日 南区長マンション 1階 研修室 10:00～12:00	西区 11月12日 西区長マンション 2階 研修室 10:00～12:00	手稲区 11月19日 手稲区長マンション 3階 研修室 10:00～12:00

「生きがい終活」のススメ 参加申込書

申込方法 WEBのフォームからお申し込みください。下記の参加者情報に必要事項をご記入ください。FAX・メール・郵送のいずれからお申し込みください。

WEBからお申し込み <https://formline.jp/form/202408240001>

この参加申込書を 送付してお申し込み FAX: 011-624-0660 E-mail: sh.kata@city.sapporo.hk.jp 郵 送 〒064-0802 札幌市中央区南 1 条 2-1-1 2F 市民センター 市民参加課

申込締切日 各開催日の10日前必着 ※郵送の場合は、開催日の前日までに届くよう余裕を持っての申し込みをお願いします。

お問合せ TEL: 011-624-0660 株式会社ホリワカ (担当: 川口/大塚) 9:00～18:00

参加者情報	
お名前	性別
ご年齢	10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上
ご住所	T
ご連絡先	TEL E-mail
参加を希望する区	※お申し込みの際は、お申し込みの区を必ずお選びください。お申し込みの区と異なる区にお申し込みの場合は、お申し込みの区と異なる区にお申し込みの旨をお知らせください。
退費額	※お申し込みが取り消された場合ご返金ください。

※この申込書は、お申し込みの受付期間中に限り有効です。

(2) 募集方法

- ・市有施設へのチラシの配架、「広報さっぽろ」への掲載、札幌市公式 SNS での告知により参加者を募集した。
- ・榊ポロワッカ内に運営事務局を設け、参加申込みおよび問合せに対応した。
- ・参加申込みは、ウェブサイト上に設けた専用フォームのほか、メール、電話、申込書によるファクス・郵送で受け付けた。

① チラシの配架

申込用紙兼用の募集チラシ 2,000 部を制作し、札幌市内の区役所、区民センター、まちづくりセンター、社会福祉協議会等へ、令和 6 年 8 月 16 日から配架開始した。

②広報さっぽろ

《 広報さっぽろ 2024年9月号 》

9/30月、10/4金、22火、11/1金、5火、12火、19火
終活ワークショップ



終活をテーマにした講義やグループディスカッションを、北、厚別、豊平、清田、南、西、手稲区で行います。この機会に自分の人生を振り返ってみませんか。

日時・会場 9/30月=北区民センター(北区北25西6)、10/4金=厚別区民センター(厚別区厚別中央1の5)、22火=豊平区民センター(豊平区平岸6の10)、11/1金=清田区民センター(清田区清田1の2)、5火=南区民センター(南区真駒内幸町2)、12火=西区民センター(西区琴似2の7)、19火=手稲区民センター(手稲区前田1の11)。いずれも14~16時

定員・費用 各回20人。無料

申込 区役所、区民センターなどで配布中の申込書を、各開催日の10日前(必着)まで。抽選

詳細 ウェルネス推進部施設管理課 ☎211-3518

③札幌市 ホームページ

《 掲載開始日：令和6年8月15日 》



札幌市ホームページのスクリーンショット。検索バー、ナビゲーションメニュー、および「ワークショップ「生きがい終活」のススメ」のページ内容が確認できます。

ワークショップ「生きがい終活」のススメ

このワークショップでは

- 終活を通して、人生で大切にしたい価値観を掘り出す
- 心配事を解決するために、一歩踏み出す勇気を持つ
- 終活をテーマにした情報・意見を共有する

ことを目指しています。

自分らしい充実した人生を送るため、終活について話し合ってみませんか？
 なお、お申し込みにあたって、年代は問いません。

開催日時・場所等

各区民センターにおいて1回ずつ開催します。定員は各回20人です。

区民センター	日時(いずれも14時00分~16時00分)	会場
中央区民センター	令和6年9月6日(金曜日)	視聴覚室(2階)
白石区民センター	令和6年9月10日(火曜日)	視聴覚室(5階)
東区民センター	令和6年9月13日(金曜日)	講義室(3階)
北区民センター	令和6年9月30日(月曜日)	講義室(2階)
厚別区民センター	令和6年10月4日(金曜日)	視聴覚室(2階)
豊平区民センター	令和6年10月22日(火曜日)	視聴覚室(2階)
清田区民センター	令和6年11月1日(金曜日)	視聴覚室(1階)
南区民センター	令和6年11月5日(火曜日)	第1・2会議室(1階)
西区民センター	令和6年11月12日(火曜日)	視聴覚室(3階)
手稲区民センター	令和6年11月19日(火曜日)	視聴覚室(3階)

ワークショップ内容

- ミニレクチャー(約30分)
 - 生きがい終活とは?
 - エンディングノートのご紹介
- グループディスカッション(約60分)
 - 1グループ6~7人でディスカッションをします。終活に関する不安や疑問を解消していきましょう。

④札幌市 公式LINE

◀ 投稿日：令和6年8月22日 ▶

⑤札幌市 公式X（旧Twitter）

◀ 投稿日：令和6年8月22日 ▶

(3) 参加者への連絡

定員を超えた申込みがあった場合は、開催の10日前に抽選を行い、開催区にお住まいの方や、本ワークショップに初めて参加される方を優先した。

なお、参加の可否は、開催1週間前を目途にハガキを郵送する形で、全ての申込み者にもれなく通知した。

◀ 当選ハガキ ▶

ワークショップ
「生きがい終活」のススメ

いろいろな意見を聞いてみよう

＜参加のご案内＞
（ご当選のお知らせ）

この度は「生きがい終活」のススメにご応募いただき誠にありがとうございました。
抽選の結果、当ワークショップにご参加いただけることになりましたので、ご連絡いたします。

○会場：白石区開催
白石区民センター 5階視聴覚室
（札幌市白石区寿郷通1丁目南8-1）

○日時：2024年9月10日（火）
14:00～16:00（開場13:45）

○持ち物：特にございません
（筆記用具は運営事務局で用意します）

※当日はこのハガキをご持参のうえ、会場へお越しください。

ワークショップ「生きがい終活」のススメ 運営事務局
お問合せ（運営・企画） 株式会社ポロワッカ
〒064-0802 札幌市中央区南2条西24丁目2-17 河村ビル
メール：shukatsu@porowakka.co.jp
電話：011-624-0660（平日9:00～18:00）

SAPPORO

主催：札幌市保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課

◀ 落選ハガキ ▶

ワークショップ
「生きがい終活」のススメ

いろいろな意見を聞いてみよう

＜抽選結果のお知らせ＞

この度は「生きがい終活」のススメ（○月○日（○）○区開催）にご応募いただき、誠にありがとうございました。

厳正なる抽選の結果、誠に残念ながら今回はご当選とはなりませんでした。
興味を持ってお申込みをいただきましたが、多くのご応募をいただいた中で、抽選に漏れてしまいましたことを心よりお詫び申し上げます。

現在、他区開催のワークショップのお申込受付期間となっております。応募者多数の場合は、抽選となりますが、ご検討いただけますと幸いです。
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ワークショップ「生きがい終活」のススメ 運営事務局
お問合せ（運営・企画） 株式会社ポロワッカ
〒064-0802 札幌市中央区南2条西24丁目2-17 河村ビル
メール：shukatsu@porowakka.co.jp
電話：011-624-0660（平日9:00～18:00）

SAPPORO

主催：札幌市保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課

(4) メディア掲載実績

北海道新聞 9月7日(土) 朝刊 (9月6日(金)中央区の取材内容)

・北海道新聞 地域面 札幌市内版

2024年9月7日(土曜日) 北海道新聞 朝刊 本紙 地域面 札幌市内 14ページ

終活の一步 悩み共有を 市がワークショップ参加募集



札幌市は6日、終活をテーマにした市民向けのワークショップ「生きがいの進め方や葬儀の方法」を中央区民センターで開いた。40〜80代の市民14人が参加し、終活の進め方や葬儀の方法などに関する悩みや疑問を共有した。市は11月まで全10区で開催予定で、参加者を募集している。市が終活に関するワークショップを開くのは初めて。初回の6日には、参加者がグループに分かれて議論。「母親の気持ちをどう伝えるか」「葬儀の生前契約の方法を知りたい」など情報共有の場となった。ほかに、エンディングノートの活用方法も学んだ。

終活をテーマに開かれたワークショップ

共有した。市は11月まで全10区で開催予定で、参加者を募集している。市が終活に関するワークショップを開くのは初めて。初回の6日には、参加者がグループに分かれて議論。「母親の気持ちをどう伝えるか」「葬儀の生前契約の方法を知りたい」など情報共有の場となった。ほかに、エンディングノートの活用方法も学んだ。

員20人で、原則を開催日踏み出せない人たちと10日前までに申し込み。参加無料。市ウエル呼び掛ける。詳細は同課、電話011・211・3518へ。(麻植文佳)

・北海道新聞 札幌近郊版 石狩振興局管内(江別、千歳、恵庭、北広島、石狩、当別、新篠津)

2024年9月7日(土曜日) 北海道新聞 朝刊 本紙 地域面 札幌近郊 14ページ

「終活」の悩み、疑問を共有 札幌で市民向けワークショップ



札幌市は6日、終活をテーマにした市民向けのワークショップ「生きがいの進め方や葬儀の方法」を中央区民センターで開いた。40〜80代の市民14人が参加し、終活の進め方や葬儀の方法などに関する悩みや疑問を共有した。市は11月まで全10区で開催予定で、参加者を募集している。市が終活に関するワークショップを開くのは初めて。初回の6日には、参加者がグループに分かれて議論。「母親の気持ちをどう伝えるか」「葬儀の生前契約の方法を知りたい」など情報共有の場となった。ほかに、エンディングノートの活用方法も学んだ。(麻植文佳)

2024年9月7日(土曜日) 北海道新聞 朝刊 本紙 地域面 札幌近郊 14ページ

「終活」悩みや疑問を共有 札幌市が市民向けワークショップ



札幌市は6日、終活をテーマにした市民向けのワークショップ「生きがいの進め方や葬儀の方法」を中央区民センターで開いた。40〜80代の市民14人が参加し、終活の進め方や葬儀の方法などに関する悩みや疑問を共有した。市は11月まで全10区で開催予定で、参加者を募集している。市が終活に関するワークショップを開くのは初めて。初回の6日には、参加者がグループに分かれて議論。「母親の気持ちをどう伝えるか」「葬儀の生前契約の方法を知りたい」など情報共有の場となった。ほかに、エンディングノートの活用方法も学んだ。(麻植文佳)

3 ワークショップの内容

(1) プログラム構成

開催日当日は、札幌市職員のほか、滞りなく進行できるよう「統括ファシリテーター」「ファシリテーター」「運営スタッフ」を配置した。

主催者による趣旨説明の後、ミニレクチャーを行いグループワークの目的を確認したほか、ファシリテーターがグループワークの進行や、意見集約を行うなど、参加者にとって有意義なグループワークとなるよう努めた。

① 運営体制

	人数	業務内容
統括ファシリテーター	1名	ミニレクチャー進行、1グループのファシリテーター
ファシリテーター	2～3名	それぞれ1グループのファシリテーター
札幌市職員	2名	ワークショップ開催の趣旨説明、その他運営業務
運営スタッフ	1～2名	受付、司会進行、写真撮影、その他運営業務

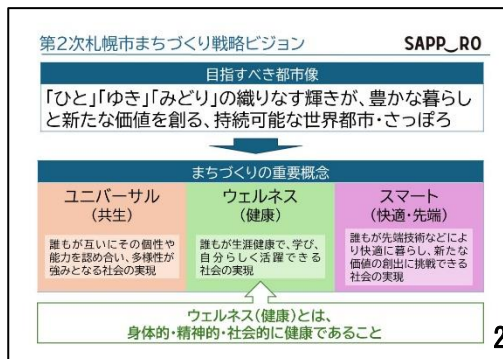
② タイムスケジュール ※参加人数やグループ数により、多少の時間変動あり

時間	項目	所要時間	内容
14:00	開会・趣旨説明	5分	開会挨拶とワークショップ開催の趣旨説明
14:05	ミニレクチャー	20分	グループワークに向けたミニレクチャー
14:25	休憩	10分	
14:35	手順説明	5分	グループワークの手順説明
14:40	グループワーク	60分	テーマ1 住まい (25分) テーマ2 葬儀・お墓 (25分) フリーディスカッション (10分)
15:40	グループ発表	10分	各グループのファシリテーターによる発表
15:50	閉会	10分	アンケート記入のお願いと閉会挨拶
16:00	終了		

(2) 開会・趣旨説明

主催の札幌市保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課より、ワークショップ開催の趣旨について説明した。

<投影スライド>

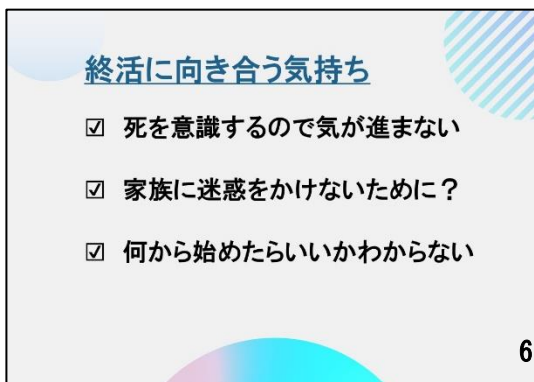
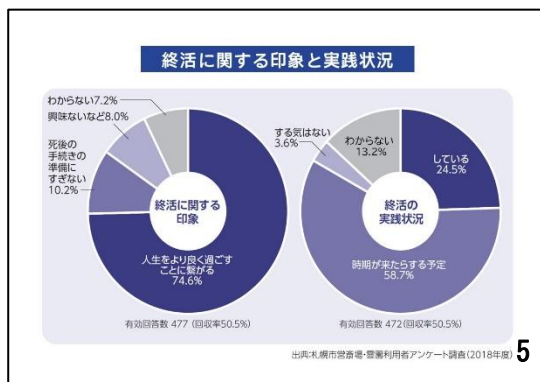
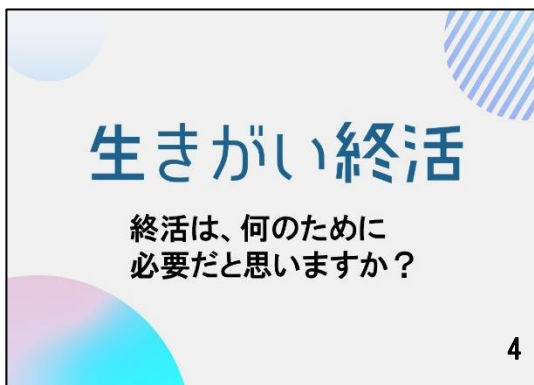


(3) ミニレクチャー

グループワークの前段となるミニレクチャーでは、終活に対する意識を共有するために次のような話題提供を行った。

- ・参加者が終活に対して自ら能動的に取り組むきっかけとなるよう、ワークショップのタイトル「生きがい終活のススメ」の意図を伝え、趣旨を共有した。
- ・終活のツールとして役立つエンディングノートを紹介した。
- ・終活に取り組む際の困りごとや要望などの意見を引き出すため、「住まい」「葬儀・お墓」の2大テーマを設定。グループワークでこれらのテーマについて話し合うことを伝えた。

<投影スライド>



生きがい終活のメリット

- 人生を客観的に振り返る機会
- 自分の大事な価値観を確認できる
- 大切な人に感謝の気持ちを伝える機会
- より安心して豊かに生きるための力になる
- 「わたしの終活」が「みんなの終活」に役立つ

7

生きがい終活

生きがい終活は、自分を見つめ直す機会。
「人生を豊かにする活動」として
ポジティブに取り組んでみましょう。

8

エンディングノートを活用しましょう

人生を振り返り、やり残したことを再発見できる

(札幌市2024年「終活と終活を考えるシンポジウム」(福田洋一氏基調講演より)

エンディングノート

医療や介護、財産情報など、伝えたいことを書き留めておくノートや手紙のこと。

<メリット>

- 人生を振り返られる
- 経済状況を可視化
- 家族の負担を軽減

法的拘束力 **無**

遺言書

「財産を誰にどれだけ残すか」を生前に意思表示として遺す書面のこと。

<メリット>

- 相続上の争いが生じにくい
- 話し合いのストレスを軽減

法的拘束力 **有**

9

終活の2大テーマを話し合ってみましょう

テーマ1 住まい

- ①家財整理
- ②老後の迎え方

テーマ2 葬儀・お墓

- ①葬儀スタイル・葬儀社選び
- ②お墓選び・墓じまい

10

テーマ1 住まい ①家財整理

「生きがい終活」の視点で考えてみよう

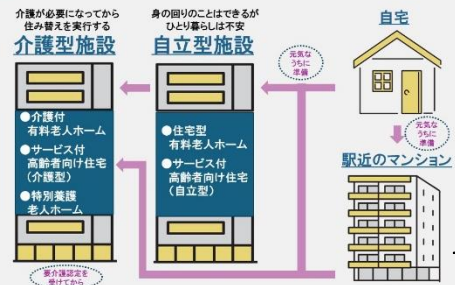


いつから始める?

何から始める?

11

テーマ1 住まい ②老後の迎え方



12

テーマ2 葬儀・お墓

葬儀やお墓のことは誰かに頼まざるを得ない

- ポイント
- ①自分の考えや要望を整理する
 - ②要望を託したい人物を決めておく
 - ③要望を伝え、話し合っておく

心配事が減り、安心して生き続けられる

13

▶おひとり様が準備しておきたいこと

死後事務委任のメリット

- 近くに頼れる親族がいなくても安心
- 葬儀などの要望を生前に伝えることができる

死後事務委任の主な内容

- ①亡くなった後の親族などへの連絡
- ②葬儀・お墓・納骨に関すること
- ③生前に残った債務(医療費など)の支払い
- ④家財道具などの処分
- ⑤行政への届け出に関すること

14

(4) グループワーク

1グループ3～7名の構成とし、参加人数により2～4グループに分かれてグループディスカッションを実施した。冒頭、統括ファシリテーターから一連の流れを参加者に説明し、その後各グループに配置されたファシリテーターの主導のもと、ディスカッションテーマに関するより多くの意見を引き出すべく和やかな雰囲気づくりと進行に努めた。

① 自己紹介

自身の終活の取り組み状況が『勉強中』『準備中』『実行中』の3つから、どのステージに該当するか決めてもらい、簡単な自己紹介を行って頂いた。

※それぞれのステージ分けについては、明確な基準を設けず参加者の自己申告とし、互いのコミュニケーションや意見を聞く際の目安として行った。

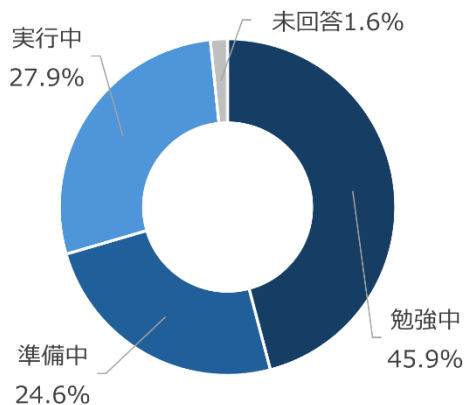
『勉強中』 終活に関心はあるが知識が不足

『準備中』 知識はあるが終活を始めている

『実行中』 終活を始めているが新たな情報も得たい

《 参加者の終活の状況 》

項目	勉強中	準備中	実行中	未回答
人数	56名	30名	34名	2名



② ディスカッションテーマ1

住まい（家財整理/老後の迎え方）

③ ディスカッションテーマ2

葬儀・お墓（葬儀スタイル・葬儀社選び/お墓選び・墓じまい）

(5) ワークショップの様子

① 設営状況



② 趣旨説明



③ ミニレクチャー



④エンディングノートのサンプル展示コーナー



⑤グループワーク（アイデア抽出作業）



⑥グループワーク（会場風景）



⑦グループ発表

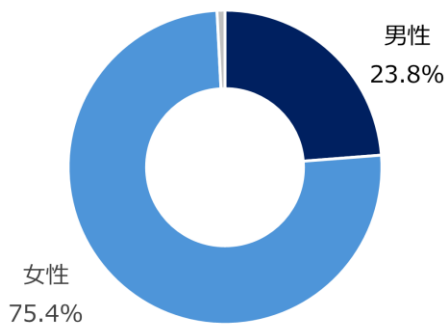


4 実施結果

(1) 参加者人数と属性

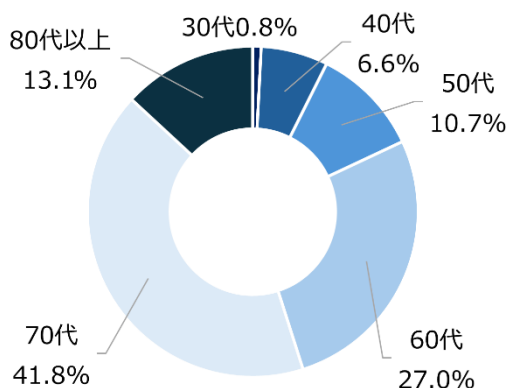
① 性別

性別	男性	女性	未回答	合計
人数	29名	92名	1名	122名



② 年代

年代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
人数	1名	8名	13名	33名	51名	16名	122名



(2) 参加者意見の概要

- ・市が主催するワークショップなので参加したという方が多く、終活の手順や業者の見極め方を市に示してほしいという意見が多く上がった。
- ・多くの方が家財整理を進めているが、老後の住まいについては、希望はあるもののタイミングや手順が分からず進められていない状況。
- ・終活を進めている方の多くは、葬儀やお墓の生前契約に興味関心が強く、一部の方はすでに契約を済ませていた。
- ・樹木葬や海洋散骨に興味があるが、情報が足りず“興味がある”でとどまっている様子。

終活ステージごとの参加者の意見や動向は、概ね以下の通りとなった。

「勉強中」 終活を進める上で、家財整理や墓じまい等の手順が知りたい。
他者の意見を聞ける機会があれば積極的に参加したい意向がある。

「準備中」 家財整理は進めやすいジャンルから始めている状況。
終活の情報収集を進めており、家族へ自身の意思を伝えている。

「実行中」 家財整理や住まいについても老後の準備が整っている状況。
葬儀会社等と生前契約を締結した方が多いが、自身の終活が正しいのか疑問がある様子。

(3) 各区意見まとめ

① 9月6日(金)中央区

参加人数：14名

男女比：男性0名：女性13名 未回答1名

テーマ1 住まい		
	意見・ニーズ	実践例
① 家財整理	<ul style="list-style-type: none"> ・愛着のあるものはなかなか捨てられない ・デジタル遺品の処分が心配 ・衣類は買い取り額が低く、騙される心配がない ・家財整理のときの見積額の妥当性が気になる ・写真データの保管、整理方法が分からない ・処分してほしいことを家族に伝えづらい ・仏壇の処分方法が分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・引っ越しを機に家財を捨てた ・不要なものは、交友関係の中で譲るのがいい ・昔の高級家具は買い取り先がなく、処分費用も高い ・デジタルやカードは少なく集約している ・手の付けやすい衣類の処分を進めている ・食器は割って小さくして処分
② 老後の迎え方	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ住み慣れた自宅で長く過ごしたい ・安全、安心を考えると施設は良い選択 ・孤独死が増えているので、自分も不安 ・入院時などに自宅のメンテナンスを頼める先があったら、自立した生活を続けられる ・気軽に日常のことを頼める先があるといい ・高齢者住宅をAIが提案するサービスがあったら嬉しい ・事前に準備していても、いざという時に相応しい処に入居できるか不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許返納のタイミングが終の棲家の考え時 ・良い老後を迎えるために、情報のアンテナを張る ・孤独死の防止のため、友人、知人同士でお互いの状況や安否を気に掛け合う
テーマ2 葬儀・お墓		
	意見・ニーズ	実践例
① 葬儀社選び	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の美味しい葬儀社を選びたい ・シャワー付きの葬儀場を選びたい ・生前契約の体験談や手順を聞く機会が欲しい ・生前契約通りに執り行われるのか不安 ・変化する価値観についていく必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人、知人の葬儀を観察し知識や経験を増やす ・おひとり様なので、既に契約・支払い済み ・葬儀費用を預金し、子どもに伝えている
② お墓選び	<ul style="list-style-type: none"> ・合同墓、樹木葬、海洋散骨に関心がある ・おひとり様が増えるので公営合葬墓を整備してほしい ・民間の納骨堂は、突然の閉鎖、破綻が心配 ・檀家を辞めたくても、お寺が話を進めてくれないと聞く ・散骨などの新しいスタイルが一般化してほしい ・生前に準備をしても、物価変動で費用が不足する心配 	<ul style="list-style-type: none"> ・永代供養を望んでいる ・実家の墓参りは自分の代で終わりと子どもに伝えた
終活全般・行政に望むこと		
<ul style="list-style-type: none"> ・何度も更新するエンディングノートは鉛筆で記入する ・終活は「人生会議」として家族内でも日常の話題にできるといい ・終活予備軍の50・60代向けに「生き方セミナー」などがあるといい。難しく考えなくていいと背中を押してほしい ・終活全般を相談できる、相談窓口を行政が設けてくれたら安心する ・悪質な業者に関する公設のクレーム窓口が欲しい、情報を開示してくれたらトラブル防止になる ・エンディングノートを若いうちから市民に配布し、必ず来る「いつか」への備えを意識させるべき ・終活に関して、もっと周知・PRをしてほしい 		

② 9月10日(火)白石区

参加人数：7名

男女比：男性2名：女性5名

テーマ1 住まい		
	意見・ニーズ	実践例
①家財整理	<ul style="list-style-type: none"> 親の着物の処分に困っている ひな人形や五月飾りの処分方法が分からない 子どもの写真の処分をどうすべきか分からない 親の財産の在処を知らないと、万が一のときに不安 突然死の際、デジタルデータの処理は誰がするのか アルバムの整理方法を詳しく知りたい 	<ul style="list-style-type: none"> 転居に伴い、家財の3/4を整理した 着物をリサイクル店に売っても二束三文なので知り合いに譲る
②老後の迎え方	<ul style="list-style-type: none"> 自分が動けるうちに、実家の処分をしたい 福祉サービスなどの知識を得ておくことが大事 高齢者住宅に入居する際、こういった状態で退去を余儀なくされるのかを把握しておきたい 老人ホームは自由が制約されるので入居したくない 高齢期にペットが飼える住環境やサービスが欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> 介護が必要にならないよう、筋トレをしている
テーマ2 葬儀・お墓		
	意見・ニーズ	実践例
①葬儀社選び	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身で終活を進めることは、家族の幸せだと思っている 生前契約した葬儀社が倒産しても保証がないことが心配 生前契約済みだが、亡くなった時に札幌に居住していなかったらどうなるのか？ おひとり様にとっては、直葬や1日葬が一般的になってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 海洋散骨に決めており、費用も下調べ済み 直葬センターの下見をし、見積もとった 親戚の葬儀で火葬場が混んでいて1週間ホテルにいることになりホテル代がかかった
②お墓選び	<ul style="list-style-type: none"> 人口が減少しているので、墓じまいは今を生きる子孫の役目だと思う 樹木葬に興味がある 合葬墓が良い 実家の墓まで車で1時間なので移設を考えたい 墓じまいはお寺とのトラブルが心配 交通アクセスの良い場所に市営納骨堂が欲しい 札幌市内に合葬墓や樹木葬の選択肢が増えるといい 	<ul style="list-style-type: none"> 故人の希望通り納骨堂を選択したが、親族が猛反対
終活全般・行政に望むこと		
<ul style="list-style-type: none"> 終活の役に立つことは、メモをとって忘れないようにしている 「家財整理」「住み替え」「墓じまい」など、それぞれのプロを紹介してくれる総合窓口が欲しい おひとり様専門の相談サービスが欲しい おひとり様や身寄りの無い方の事務処理は行政で担ってくれと安心 業者の信頼度を測りかねる点は、終活を進めていくうえでボトルネックになる 		

③ 9月13日(金)東区

参加人数：5名

男女比：男性2名：女性3名

テーマ1 住まい		
	意見・ニーズ	実践例
①家財整理	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバムに対する価値観は、家族間でも違っている ・デジタル遺産はしっかり引き継ぎたい ・相続の相談相手として税理士はベストではない。遵守精神が優先され依頼者の希望に寄り添ってくれない ・着物の買い取り価格は安い、どこかで人の役に立っていると考えるようにする ・ひな人形の処分方法が分からず、お焚き上げは高額 	<ul style="list-style-type: none"> ・母の遺品整理の際、兄弟間で母から聞いていた内容が食い違う ・処分していい物リストを子どもに伝えている ・定年後にスーツを処分済み。本も9割減らした ・銀行、カード、家などは窓口を1社にしておく
②老後の迎え方	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに住むのかは、病気の心配と切り離せない ・夫婦どちらか介護が必要になったときに住み替えを考えるとつりだが、選び方が分からない ・自宅で最期まで過ごすにはどうすべきか知りたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・家を小さく建て替え、敷地内に子どもの家も建てた ・健康維持のために1日1万歩を心掛けている ・足の8020（1日8,000歩以上、早歩き20分）を実践 ・年に1回の脳ドック、3か月に一度の血液検査 ・定期的な健康チェックのためにかかりつけ医がいる
テーマ2 葬儀・お墓		
	意見・ニーズ	実践例
①葬儀社選び	<ul style="list-style-type: none"> ・生前葬も選択肢の一つだと思う ・死後事務委任の契約後に会社が倒産したらどうなるのか、賠償責任はあるのか心配 ・死後事務委任の悪徳業者が出てこないかと心配 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに葬儀費用を預けている ・会社は決めていないが家族葬と決めている
②お墓選び	<ul style="list-style-type: none"> ・お墓は墓じまいが必要になるので散骨や樹木層を希望 ・墓じまいは大変ではないが、お金の問題がある ・合葬墓に入ると、子どもがお参りするの難しい ・墓の値段が上がって、子世代が困っている ・車での墓参りはいつまで行けるか分からない ・墓じまいをしたいが、親戚の意見も聞く必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・墓じまいをして身軽になった ・夫婦間で墓じまいなどの価値観を話し合っていた ・実家の墓じまいは父が済ませた ・某霊園と契約し、〇〇年経ったら自動的に合葬墓に入れてもらえる契約を結んだ
終活全般・行政に望むこと		
<ul style="list-style-type: none"> ・老後の生活を考え、道内各地から札幌に移住する高齢者が増加しているが、行政はこの動向にどう向き合うのか ・市はお金があるか分からないので終活は行政をあてにしない。wise spendingを望む ・信頼できる買い取り業者のリストを作って紹介してほしい ・家財整理した品を出品するフリーマーケットを行政で行っていたら嬉しい 		

④ 9月30日(月)北区

参加人数：17名 男女比：男性4名：女性13名

テーマ1 住まい		
	意見・ニーズ	実践例
①家財整理	<ul style="list-style-type: none"> 洋服や着物を社会に役立つ方法で処分したい 愛着のある食器や本、絵画などの処分に困る 写真は処分していいものなのか分からない 証券や金融商品の暗証番号を引き継ぐ頃合いが分からない ゴルフ用品の処分方法が分からない デジタル遺品を中心に、家族と情報共有をする必要がある 家族から引継いだ物は自分の物より整理しづらい 家財整理はいつでもできると思い、なかなか進まない 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問買取ではなく、良質な店へ持ち込む アルバムはデジタルに変換して整理している 子どもが全てやってくれるので任せている 着物や帯締めなどを友人にあげたら喜んでくれた ベッドと冷蔵庫以外を捨てて身軽になった 資産価値のあるものは、子どもに選んでもらう 終の棲家への引っ越しを機に、家財整理を済ませた
②老後の迎え方	<ul style="list-style-type: none"> 終の棲家を考えるうえで、介護が大きな転換点になる 介護保険を利用しながら自宅で暮らすのが一番の希望 終末期医療について、医療関係者と情報共有したい どんな種類のどのような介護施設があるのか知りたい 認知症になってから病院に行くのは遅いので、良いかかりつけ医を持つことが健康維持に役立つ 住み替えのタイミングは難しい タダでもいいので不動産を引き取ってほしい。そのような不動産の流通システムが整備されるといい 孤独死がすぐに発見されるシステムがあるといい 	<ul style="list-style-type: none"> エンディングノートは9割書き終えた 高齢になると、引っ越しにも身元保証人が見つからない問題に直面 高齢になり賃貸に入りにくくなる前に持ち家を売り、賃貸へ引っ越した 若くて動けるうちに下見をし、住むエリアを決めた
テーマ2 葬儀・お墓		
	意見・ニーズ	実践例
①葬儀社選び	<ul style="list-style-type: none"> 散骨方法や法律上の制約、事業者の見極め方などについて知りたい おひとり様の終活について情報が知りたい 葬儀費用の基準価格を教えてください 見積をとる際、自分の予算を伝えて、高額契約に流されない意思を持ちたい 	<ul style="list-style-type: none"> 希望に沿った葬儀社を2社に絞った 葬儀会社と生前契約を締結済み。長生きした場合は参列者が減るので契約内容を見直したい 暑い時期に身内が無くなり、直葬を進められたが友引だったので家に連れて帰った 病院が提携している火葬場で直葬を希望した
②お墓選び	<ul style="list-style-type: none"> 合葬墓を希望したいが、市営合葬墓の拡大計画はあるのかわかりたい 墓参しやすい市街地に合葬墓や納骨堂が整備されてほしい 永代供養の代金が高すぎる 納骨堂のみで十分だと思っている 	<ul style="list-style-type: none"> 海洋散骨を希望し、兄弟に費用を託している 30年前に札幌に自分の墓を作った(実家の墓は地方) 先祖の墓は墓じまいし、夫婦で合葬墓に入る お墓は購入済みで散骨希望(一部納骨)永代供養付きの契約を行った
終活全般・行政に望むこと		
	<ul style="list-style-type: none"> 介護施設の全体を概観できる情報がほしい。市主催の介護施設見学ツアーがあるといい おひとり様がお墓に入るまでのシステムを行政に作ってほしい 終活の手順を行政に指南してほしい 市主催で安心できる、介護施設見学ツアーや相続に関するセミナーがあると情報収集に役立つ 「広報さっぽろ」に掲載されている、お墓などの広告主は安心できる業者なのか? 市民の火葬場利用料が無料とは知らなかった。市民も有料にしないと施設を維持できないと思う 現代の技術で火葬場の燃料を転換したり、燃料効率を上げられたりしないか? 遺骨が土に還る年数を短くする方法など エンディングノートの自分の気持ちを書く欄は、書きにくいのが頭の整理に役立つ 	<ul style="list-style-type: none"> 終活に関わることを子世代から進言するのは言いづらい。まずは親が口火を切るのが子世代の負担軽減となる 親子間での意見の対立は、口頭ではなく冷静になるために手紙をつかう 公営墓地を整備して生前契約できるようにしてほしい 不用品のマッチングや、町内会の資源回収の品目拡大をしてほしい 西区ちえりあにあるようなりサイクルセンターを各区に設置してほしい 札幌市には、一定の条件が合えば自宅にゴミを取りに来てくれるシステムがあり、とても良い 若い方や地域同士のボランティアの輪が広がると良い ネットで行う行政の手続き関連はボランティアなどで教えてほしい

⑤ 10月4日(金)厚別区

参加人数：19名

男女比：男性5名：女性14名

テーマ1 住まい		
	意見・ニーズ	実践例
①家財整理	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問買取業者は家に上げない ・コレクション品を手放すタイミングは難しい ・洋服の整理は始めるきっかけがつかみづらい ・身内の結婚式写真などは処分に心理的負担がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真は10年刻みで各年代1枚ずつを残して処分 ・家財整理を業者に依頼して、とても楽だった ・衣類は査定がアップする、シーズン前に売った ・金融機関を絞って通帳は2冊にまとめた ・定期預金は、いざという時に解約しづらいので普通預金にしている ・預金ノートを作成し、一元管理している ・年賀状じまいをした
②老後の迎え方	<ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム費、解体費のどちらも高く困る ・一般的な年金額では施設に入れない ・除雪は大変だが、できるだけ長く自宅に住みたい ・温泉付きの施設に入るのが希望 ・まずは資金プランを考えなくてはいけない ・自宅で介護、看護サービスを受ける際、契約通りにおこなわれているか第三者が確認してほしい ・高齢になってから家の売却をするのは相当不安だろう ・一人になったら考える ・住み替えの情報や手順、自分でやることと行政でやってくれることを知りたい 	
テーマ2 葬儀・お墓		
	意見・ニーズ	実践例
①葬儀社選び	<ul style="list-style-type: none"> ・葬儀会社は「〇〇万しかない」と伝えたら、その範囲でやってくれるので、意思を持って交渉すべき ・葬儀は、あげた経験がないと内容の理解に苦慮する ・信頼できる葬儀会社や、選び方を教えてほしい ・火葬から合葬墓まで市でやってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・生前契約済みで、簡単にしてほしいと伝えている ・退職後、葬儀会社のセミナー全てに参加した
②お墓選び	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がどのようにしたいか、先に考えを整理する ・多死社会に伴い、怪しげな民間の墓が増えていくので安心できる市の合葬墓をもっと増やしてほしい ・お墓の選択肢がもっと増えるといい 	<ul style="list-style-type: none"> ・墓じまいは済ませた ・余計なお金はかけないようにと子どもに伝えている ・本州の墓じまいの際、離壇料などで何百万かかった ・霊園と契約済み
終活全般・行政に望むこと		
	<ul style="list-style-type: none"> ・両家4人の親を見送り、自分の終活もスタート ・身内が無くなった際に業者に騙され大変な思いをしたので終活の勉強にきた ・市主催の介護見学ツアーがあると安心。業者を見る目を養いたい ・献体の手続きと方法について知りたい ・安心できる葬儀、墓業者選びの基準を市が示してほしい ・市の積み立て制度があると良い ・市の合葬墓を増やしてほしい ・葬儀の業者選定や、生前契約について市や公正な機関にアドバイスしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・単身でも自宅で住み続けられるサポートとして、見守り機器設置や利用料の補助があるといい ・終活に関する情報を行政が積極的に発信し、信頼できる情報に触れる機会を増やしてほしい ・生前契約した葬儀が、契約通りに行われたかチェックする機能がほしい ・高齢者にとって、終活の情報は量より質が重要 ・高齢者はアナログな情報提供を求めている ・衣類も意外と重いので、市の方で処分するサービスをしてくれたら嬉しい ・広報さっぽろに載っている業者は信用している ・あらゆる段階における相談窓口を市で作ってほしい

⑥ 10月22日(火)豊平区

参加人数：12名

男女比：男性4名：女性8名

テーマ1 住まい		
	意見・ニーズ	実践例
① 家財整理	<ul style="list-style-type: none"> ・死後事務委任の業者選びが難しい ・仏壇の処分は心理的負担がある ・個人情報が入っている電子機器の処分に困る ・暗証番号があるものは、老後までに最低限に整理すべき ・家具の処分が一番困るので後回しになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・着物は1枚10円程度の買取料だが、送料無料で業者に買い取ってもらえた。 ・おひとり様の家財整理を業者に依頼済み ・思い切って整理したら、せいせいした ・デジタルアカウントの情報を一覧表にしている ・捨てられない両親に代わってネットに出品し、売却した ・服をワクチンに変えるサービスを利用した ・衣替えのたびに少しずつ服を処分している
② 老後の迎え方	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ自宅で長く過ごしたいが、将来は分からない ・いずれ施設への入居を希望 ・施設入居時には保証人が必要。司法書士などに早めに依頼するのが良い ・虐待のない施設が良い ・食事キャンセルは1週間前ではなく、2,3日前までなど利用者ファーストの規則にしている施設が良い ・職員の対応が事務的な施設は嫌 ・賃貸で暮らし、70歳ぐらいに自立型施設に入りたい ・不動産の所有は心理的負担があるので、高齢者が賃貸を借りやすくなってほしい ・公的な機関によるUR賃貸は安心。物件数が増えるといい ・ケア付き住宅は利便性の悪い立地が多く、住み替えにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・おひとり様なので賃貸暮らしが高齢になった時が不安
テーマ2 葬儀・お墓		
	意見・ニーズ	実践例
① 葬儀社選び	<ul style="list-style-type: none"> ・葬儀の規模は最低限でいいので、遺族が美味しいものを食べ、幸せな時間を過ごしてほしい ・葬儀広告は最低価格表記なので、実際はもっと高い ・棺には故人の遺品をびっしり入れると良い ・宇宙葬や花火葬などに興味がある ・棺はダンボールでも良い ・自分の希望を通すために認知機能が衰える前に契約する ・葬儀の際にアドバイザーが居てくれると安心 ・身内が亡くなった際に、何からやるべきか分からず困った ・家が決めた宗派の葬儀は嫌だが、変え方が分からない ・葬儀のお金を払うくらいなら寄付をしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族葬が良いと、家族にも話している ・相見積もりをとり、直葬&合葬墓の最安コースを契約済み ・認知症の父の希望が分からず大変だったので自分は元気なうちに決めておく ・親の葬儀の際、焦りや知識不足で葬儀社の言いなりになってしまった ・葬儀会社は理由をつけて色々追加するので、予算をはっきり伝える
② お墓選び	<ul style="list-style-type: none"> ・お墓は不要なので、合葬墓や樹木葬、散骨などを希望 ・遺骨から人工ダイヤモンドを作るのも夢がある ・おひとり様なので、合同納骨塚などで充分 ・葬儀やお墓は簡単に済ませたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・次男で実家の墓に入れないので、自分のお墓を用意した ・親の納骨堂を墓じまいして永代供養墓に移すつもり ・永代供養を契約済み
終活全般・行政に望むこと		
	<ul style="list-style-type: none"> ・終活を始めて6年目だが、中だるみの時期に来て受講を決意 ・おひとり様のための事業所選びをサポートする相談窓口が欲しい ・終活は元気なうちに！ ・終活全般の行政手続きを指南してくれる窓口があったらいい ・高齢者のひきこもりが心配。気軽に行ける地域の居場所があったら ・神奈川県三浦市では、市が老後のことをやってくれる。札幌市でもやってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性は目的のない場所や、女性の多い場所には行きたくないなので、終活が目的化すると良い ・おひとり様の死後事務委任は、横須賀市のように行政も一部受託するようにしてほしい ・死後事務委任業者への公的な規制を考えても良いと思う ・以前、札幌市の委託でクリーニング店が不要な衣類の回収をしていたが、もう一度行ってほしい

⑦ 11月1日(金)清田区

参加人数：10名

男女比：男性2名：女性8名

テーマ1 住まい		
	意見・ニーズ	実践例
①家財整理	<ul style="list-style-type: none"> ・服を処分したいがまだ手付かずで、家や所有している土地をどうすべきか見当がつかない。家族とも話していない ・家族の色々な食器をどう処分したらいいかわからない ・一人暮らししている親の車を手放す時期が分からない ・家財整理を進めてほしいが、親が捨ててくれない 	<ul style="list-style-type: none"> ・買取業者を自宅に呼ぶと、不本意な価格を受け入れてしまったりするのでおススメしない ・着物はサイズや流行に左右されず、処分のきっかけが無い ・子供3人それぞれに分けてアルバムを残す形で写真を整理 ・家族の日記は捨てられないが、自分は死後に見られるのが嫌なので処分した ・心に残っていない写真は全て捨てた ・家財整理を済ませた。その時思い出した本を読み返して勉強することが趣味になっている
②老後の迎え方	<ul style="list-style-type: none"> ・唯一の子孫である自分は、親の持ち家をどう処分すべきかわからない ・夫婦で居住している戸建てを子供はいらないといついのでいざれ売却して手放すべきか悩んでいる ・一軒家に住んでいるが、強盗事件のニュースを見るとマンションの方が安心だと思う ・一軒家に住み続けたいが、町内会の役割なども高齢になると負担があるので先々を不安に思う ・住まいの事に手を付けるのは敷居が高く、ただ漠然とした不安を持って暮らしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・サ高住の見学をした際、清潔な空間や美味しい食事が提供されて良いと思ったが、何もしないとうなるのか… ・ケアマネさんに紹介されたサ高住へ住み替え済み ・5.6年前に家を建てたときに、長く住めるようにバリアフリーにした ・延命治療は望まないことを家族に伝えた
テーマ2 葬儀・お墓		
	意見・ニーズ	実践例
①葬儀社選び	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋散骨は一部分だけと聞いたが本当なのか？ ・テトラポッド葬というものがあると聞いて気になっている ・義父母に全て頼られた経験から、自分は人に同じ思いをさせないように葬儀社選びを始めている ・チカホでポスターを見てから栗山町の樹木葬が気になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺骨を高温で圧縮するダイヤモンド葬は持ち運べる大きさになるので良さそう ・子供がいるが直葬を希望している ・親族の葬儀の際、故人の希望通りに進めていたが親戚が花や装飾を追加し、家族間で意見が割れた
②お墓選び	<ul style="list-style-type: none"> ・先祖のお墓は地方にあるので、何もしなければ夫婦でそこに入ることになるが…他の方法を知りたい ・海洋散骨をしたいが情報が足りない ・自分自身で戒名を付けたいので、宗教が柔軟になると良い ・自分は市の合葬墓で良いと思うが子供は寂しいと言う 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が入るお墓は既にある状況で独身の子供も入る予定 ・近々、墓じまいするために親族が集まる ・親族が墓じまいをして合同墓に移す予定だがどうなるのか ・子供達の負担を考えて墓じまいをした。自分は樹木葬を希望している ・墓じまいを進めるために、親戚の経験者に話を聞いている
終活全般・行政に望むこと		
	<ul style="list-style-type: none"> ・最近民生委員を始め、終活の知識は役に立つと思い参加した ・妻と母の介護をしていた父は、二人が他界した後何もしていない。娘としてどうしてあげるべきか。父は遺言書を作らないと断言 ・夫婦で終活に対する考えが違ふと少しの家財整理も進まない ・終活の事を子供に切り出すきっかけを掴めずにいる ・葬儀やお墓の希望はあるが、家族がしたいようにしても良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・業者は知り合いの紹介を経て接触するように心がけている ・公営の高齢者住宅が充実したらいいと思う ・現状の福祉除雪制度をもっと進化させてほしい ・終活は何から始めるべきか分からない ・市のHPに終活情報が載っているかもしれないが、必要に迫られないと見ないのでTV・ラジオで情報発信してほしい

⑧ 11月5日(火)南区

参加人数：9名

男女比：男性4名：女性5名

テーマ1 住まい		
	意見・ニーズ	実践例
①家財整理	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の死後すぐに子どもが銀行預金を引き出せたら良い ・遺品整理の相場が知りたい ・趣味の物（音楽雑誌や楽器）は中々捨てられない… ・衣類は整理したが、空いたタンスの処分方法がわからない ・車を処分し、ガレージも整理してすっきりしたが、バス停が遠くて大変！車がある頃には気付かなかった… 	<ul style="list-style-type: none"> ・現役時代のスーツはワークマンの買取システムで処分 ・デパートの衣類引き取りサービスを利用して断捨離 ・アルバムの整理方法は子供と話している ・服も家財道具も余計なものは買わないと決めている ・衣替えの時に数枚ずつ捨てるようにしている ・子供の写真は子供に渡し、自分の写真はダンボール1つ分に整理した。最近は増やさないようにスマホで撮影
②老後の迎え方	<ul style="list-style-type: none"> ・長く自宅で過ごしたいので、近所と良好な関係を深める ・民生委員とも良い付き合いをするようにしている ・元気なうちに施設に入れば自由だがお金がかかり、病気になってから入ると自由はないのでどちらが良いか悩む ・施設で暮らして人間関係に悩みたくない ・自宅で最期を迎えるためには何が必要なのかわかりたい。事前指示書（エンディングノート）は作成済み。 ・2階に上がれなくなることを考え、生活エリアを1階にまとめたがりフォームが必要 ・とにかく元気に楽しく過ごしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・公団住宅に1人暮らしをしているが、孤独死予防対策として、人勧センサーの設置による安否確認を勧められた ・自宅で暮らすために、体力づくりをして楽しく生きている ・今年退職し、これから町内会に参加したり、ボランティア活動をしようと社協にも行った ・築45年の家の外壁はがれて修理をした際に、年齢を考えて大がかりなりフォームはしなかった ・長く今の家で過ごせるように日々歩くことを意識している
テーマ2 葬儀・お墓		
	意見・ニーズ	実践例
①葬儀社選び	<ul style="list-style-type: none"> ・契約も大事だが、信頼のおける葬儀社とつながっていることにもメリットがあると思う ・一人暮らしなので死後事務委任を調べているが、安心を保証してくれる仕組みを望む ・ベテランの行政書士は同じ高齢者。個人ではなく信頼できる永続企業に頼みたい ・これまで、親や先祖を子孫がみるのは当たり前だったし自分もそうしてもらえらると思っていた… ・どこの葬儀会社が良いのか、決め方も分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・90ヶ月の積立でやわらぎ斎場の会員になった。長い付き合いで最新の情報を得る関係づくりが目的 ・墓を継いでくれる人がいない以上、直葬を希望する ・自分の死後は親族のみに報せてこじんまりするよう指示 ・永代供養で子孫に負担を残すのは忍びないので、夫婦で合同墓に入るつもり。仏壇は処分し、墓じまいをする ・10数年前に葬儀会社の積み立てをして払い終えた ・成人式の着物を利用して死に装束作った ・自分で焼き物の骨壺を作り、その骨壺の中に葬儀社との契約書類を入れている
②お墓じまい	<ul style="list-style-type: none"> ・いま契約してもこの先存続しているかどうか最も不安なので信託銀行に頼めたらいい ・葬儀や墓にお金をかける必要をもう感じない ・なぜ、先祖が守ってきたお墓をしまうのか理解が出来ない ・先祖に恩があり、墓じまいをするつもりは無いが、亡き後は誰が…という心配はある 	<ul style="list-style-type: none"> ・葬儀や墓のことはできる限りシンプルに直葬や散骨を希望 ・墓は要らないと子供に伝え、海洋散骨を希望 ・既に戒名をお寺に頼んでいる
終活全般・行政に望むこと		
	<ul style="list-style-type: none"> ・20-30年後の契約履行を心配しなくて済むよう、事業者に対して市が基準を示してくれれば悪徳業者の撃退につながる 	<ul style="list-style-type: none"> ・

テーマ1 住まい		
	意見・ニーズ	実践例
①家財整理	<ul style="list-style-type: none"> ・コープさっぽろでは、宅配トドックお届けの際に、食器や調理器具の引き取りサービスを開始している ・家財整理は、本人しか処分を判断できないものからスタートすべし！という考え方に賛成 ・親族を数名見送り、自宅が遺品の山になり頭を抱えている ・昔の家具は業者で買い取りも処分も出来ず、自分で解体する必要がある大変 ・宮の沢にリサイクルプラザがあるが、自分で運ぶのは大変 ・家財整理は知力、体力があるうちにやらないといけない 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住する際、家財の殆どを処分したが、業者に頼まず自身でやるのはすごい時間を要する ・処分費を考え、買取額が安くても納得するようにしている ・自立型マンションへの引っ越しを機に処分した ・着物が好きな知人に着物を譲り、喜んでもらった ・コツコツ自分で処分するより、業者の方が安い ・親の写真整理は心理的負担があったので自分のものは処分済み ・年賀状は相手のためにも、やめてあげるべきだと思う ・家族の世話の合間で本の整理を進めている
②老後の迎え方	<ul style="list-style-type: none"> ・元気うちから住めて、病気等にかかっても住み続けられる高齢者住宅があれば転居したい ・建物の名義変更が高い。もっと安く済む方法は無いのか ・建物の名義変更は法務局で安くやってもらえた ・音楽の趣味が出来なくなったら施設に入るつもり ・札幌市が補助してくれる自立型のケアハウスは安い ・サ高住を考えていたが、物価高騰で手が届かない ・成年後見制度の利用などを見据えて、親族に自分の存在を認識してもらおうのが大事 	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳で一軒家を処分して賃貸マンションへ住み替えた ・建物の名義変更が高かった ・自分に何かあった時のために、家族にお金を渡している ・子供を頼らないために、子供はいないものと考えている ・訪問の介護・医療を利用することで、サ高住より安く済ませることができる ・認知症は早期発見できれば薬で進行を遅らせることができるという話を聞き、早速検査をしてもらった。
テーマ2 葬儀・お墓		
	意見・ニーズ	実践例
①葬儀社選び	<ul style="list-style-type: none"> ・直葬で充分だが、お寺の檀家だと声に出しづらい ・葬儀に特別なことは何も望まない ・献体は家族が嫌だということで辞めた ・韓国は病院の隣に火葬場がある。日本もそうなれば良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・夫を見送り、子供もいないので家族葬を希望 ・息子が医者なので、自分の死後は献体しようと思っている ・家族葬はゆっくり、ゆったり見送ることが出来て良かった ・直葬や家族葬が一般的な形に浸透していくと良いと思う ・直葬より少し上の葬儀を希望する
②お墓選び	<ul style="list-style-type: none"> ・おひとり様なので、献体して共同墓地に入るルートを希望 ・お墓は用意したが、入れてくれる人がいない ・家族でお墓の見学会に行ったが、いろんな墓があり、家族間で意見が合わなかったため、話し合いが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供がいなくて、墓じまいをして永代供養付きの区画へ ・遺骨の入っていない墓をしまうのに26万かった ・樹木葬を申込済み ・墓じまいは手続きばかりで大変だった
終活全般・行政に望むこと		
	<ul style="list-style-type: none"> ・おひとり様にとって、終活について相談にのってくれるワンストップ窓口があると心強い ・おひとり様の身元引受人や保証人にボランティア若しくは低額でなってくれるNPO法人などを行政指導で作れないのか ・パート勤務を続けることが、安否確認の役割を果たしている ・保証人不要で遺体を共同墓に収められる法律を作してほしい ・終活について話したり相談できる行事を通年開催してほしい ・60代で仕事が終わったあとに、今回の終活ワークショップのようなイベントが定期的にあると良い ・これに乗っかれば大丈夫、というような仕舞い方のロールモデルを示してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな場所で定期的に終活物品を引き受けてくれる場所を設けてほしい ・弁護士や司法書士の情報をまとめた本から、希望の弁護士を選び納得のいく対応をしてもらった ・海洋散骨は出来るが、市として、川や河に散骨することを認めてほしい ・外国籍の家族は市の共同墓地に入れなかったと言われた。おかしいと思った ・終活に関する行政サービスをもっと充実させてほしい。(札幌市は遅いと思う)

テーマ1 住まい		
	意見・ニーズ	実践例
①家財整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニマムな生活に変えたら片付けがラク。物が減ったので取り出しやすく、ケガをしにくい環境。防災効果あり。 ・自分の写真を処分するのは、自分が無くなるような気持ち ・自分の写真は捨てられるが子供達の写真は捨てられないので、子供の物は子供達に処分してほしい ・実家を整理した際に、古いアルバムを大量に引き取ることになり、処分に苦労している ・思い入れのある服は自分では捨てられなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバムはデジタル化してSDで保存。クレジットカードとデジタル関係のパスワードは一覧表にして出力済み ・衣類は季節毎に枚数を決めて、リサイクル回収をしているブランドのみで購入 ・趣味の物の整理は、同じ趣味の方に譲ると喜んでもらった ・綺麗な状態の本は市営図書館に寄贈すると喜んでもらった ・写真は分類し、インデックスを付けて保管している ・父母の遺品整理で苦労した経験から、資格を取って片付けを仕事にしている ・写真や手帳を基に、自分の生涯をパソコンでまとめている
②老後の迎え方	<ul style="list-style-type: none"> ・できれば最期まで自宅で過ごしたい。老人ホームは誰かが風邪を引くと次々に感染する環境だから心配 ・もしも将来ガンになったら、緩和ケア病棟に入りたい ・延命治療は最小限にしたい ・雪かきが不要な家に住みたい ・老後のサポートしてくれるロボットと暮らせたら良い ・手稲区にはペットと同居できる賃貸が少なく、一軒家から住み替えが出来ずにいる ・家事ができるうちは自宅で住み続けたい ・施設は食事が気になる。自炊が一番 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方の戸建住宅に住んでいたが、70代夫婦で将来を考えて札幌のマンションに転居した ・同じマンションの高齢者同士で挨拶し生存確認をしている ・民生委員と仲良くして、月に1回来てもらうのが良い ・夏はパークゴルフ、冬は麻雀(手積み)で認知症予防
テーマ2 葬儀・お墓		
	意見・ニーズ	実践例
①葬儀社選び	<ul style="list-style-type: none"> ・家族葬にしたのに、後日に弔問客が多数来て大変だった知人がいる。シンプルも一長一短 ・事前に色々な葬儀社を調べておくと、高い葬儀社を紹介される心配がなくなる ・親族が亡くなった際、故人の希望を事前知っていたので、混乱せずに葬儀を執り行うことが出来た ・家系図はしっかり残しておいた方が良い ・葬儀は葬儀で悲しむ場として必要。それ以外に飲み会スタイルで泣き笑いできるような場もあれば良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・葬儀のときに誰に知らせるかの連絡先を一覧表にしてある。その中で参列してほしい人も記載してある ・遺影に使ってほしい写真を選んでおいた ・各葬儀会社が発信しているYouTubeで情報収集をしている。葬儀の手順や準備すべき事を動画で説明してくれる ・葬儀は簡単で良いという希望を子供に伝えている ・家族葬でいいが、せめて2日間くらいは悲しんでほしい ・献体の契約済み。心臓の病気を患っているため医学生への勉強に役立ててほしい
②お墓選び	<ul style="list-style-type: none"> ・相続人は三親等以内だが、祭祀承継者は血縁である必要はないらしい。長兄が承継者だから口が出しにくい ・遺族のことを考えると、交通アクセスの悪い墓地にわざわざ来てもらうのもどうかと思う ・葬儀にお金をかけるくらいなら、墓じまいができる程度のお金を遺族に残すほうが良いのではないか ・市の合葬墓(9,100円)や海洋散骨も良いと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営の合葬墓でいい ・納骨堂も区画を返すにもお金がかかる。35万かけて納骨堂のお墓じまいをした ・樹木葬を希望している。桜が良い ・納骨堂を持っている
終活全般・行政に望むこと		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催の葬儀会社見学ツアーがあるといい ・葬儀社と契約したあと、それを確実に履行してくれるか不安 ・各区にある〇〇サークルがどのように出来ているのか気になる。終活サークルも作りたい ・葬儀会社のセミナーは、勧誘などがあるのであまり参加したくない。札幌市で老人クラブに来て話してくれる制度があれば良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・老後を施設で過ごす場合に、自分のお世話をしてくれる人(ケアマネジャー等)の情報をちゃんと知りたい ・最近では問題のあるケアマネジャーもいると聞くので、資格審査などを厳しくして欲しい。信頼できる人か不安になる

5 アンケート結果

(1) 実施概要

ア 調査項目


- ① 参加者属性（性別・年代）
- ② 終活への取り組み状況
- ③ 本ワークショップを知ったきっかけ
- ④ 本ワークショップに参加した理由
- ⑤ 終活の相談相手
- ⑥ ワークショップに対する満足度
- ⑦ 自由記載

イ 調査方法

会場においてアンケートを配布（ワークショップ終了時）、即時回収

ウ アンケート調査票

2024年9月13日（金）東区開催

 **生きがい終活のススメ アンケート**

本日はお忙しい中、ワークショップ「生きがい終活のススメ」にご参加いただきありがとうございます。
最後にアンケートにご協力ください。

※ 該当する項目の にチェック（）を付けてください。

(1) ご自身について、教えてください。

【性別】 男性 女性 回答しない

【年代】 10代 20代 30代 40代
 50代 60代 70代 80代以上

(2) 終活の状況について教えてください。
(名札に貼ったシールをお答えください)

勉強中 準備中 実行中

(3) ワークショップを知ったきっかけを教えてください。

チラシ（チラシを見た場所： ）
 札幌市のホームページ 広報さっぽろ
 札幌市のX（旧Twitter） 札幌市のLINE
 新聞 家族から聞いた 知人から聞いた
 その他（ ）

(4) ワークショップに参加した理由として
当てはまるものを全てお選びください。

興味はないが人に勧められた 終活に興味があった
 終活の情報が欲しい 終活の始め方が知りたい
 終活に関する不安を解消したい ほかの方の意見を聞いてみたい
 自分以外の身近な家族のために 札幌市の事業だから
 その他（ ）

(5) 終活のことを相談するなら誰にしますか(もしくは、したことがありますか)。
家族・親族以外で当てはまるものを全てお選びください。

行政機関 金融機関 保険会社 法律家 税理士
 介護・医療関係者 信頼できる友人・知人 葬儀会社
 思いつかない その他（ ）

裏面につづきます

2024年9月13日（金）東区開催

(6) ワークショップに関して、当てはまるもの1つにチェックを付けてください。

① ワークショップに参加してよかったと思いますか。	<input type="checkbox"/> そう思う <input type="checkbox"/> おおむねそう思う <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> そう思わない
② 終活に関して、新たな気づきなど得るものがあつたと思いますか。	<input type="checkbox"/> そう思う <input type="checkbox"/> おおむねそう思う <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> そう思わない
③ 今後、終活に取り組んでいきたいと思いましたが。	<input type="checkbox"/> そう思う <input type="checkbox"/> おおむねそう思う <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> そう思わない
④ 今回知ったことや気づいたことを、誰かに伝えたいと思いましたが。	<input type="checkbox"/> そう思う <input type="checkbox"/> おおむねそう思う <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> そう思わない

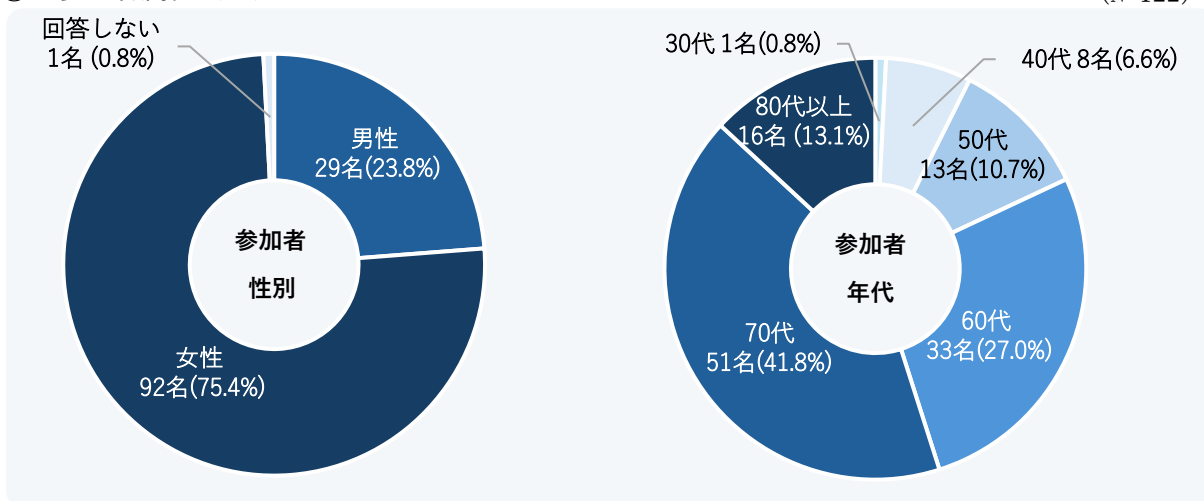
(7) 今回のワークショップで感じたことなど、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

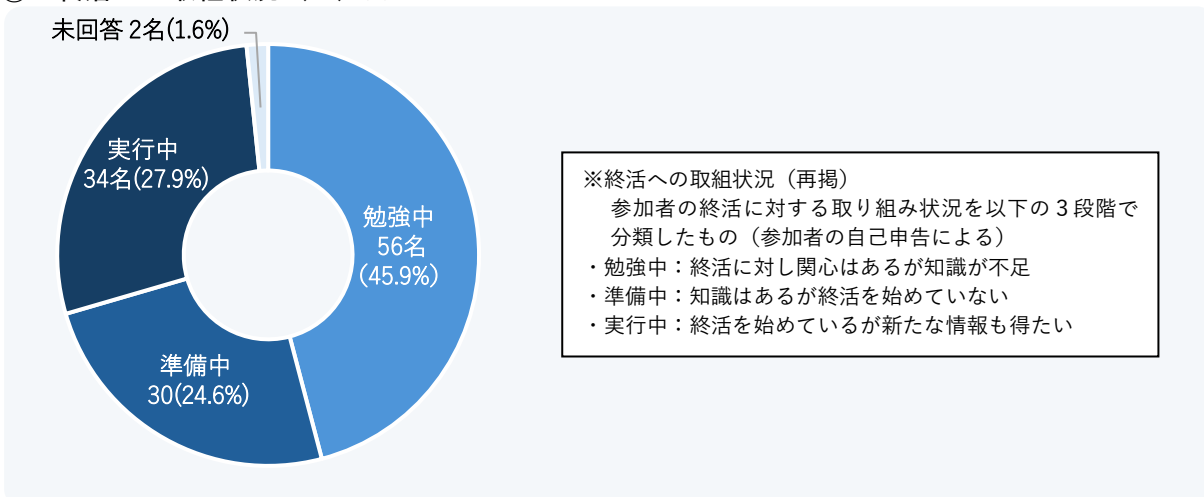
(2) 調査結果

① 参加者属性 (SA)

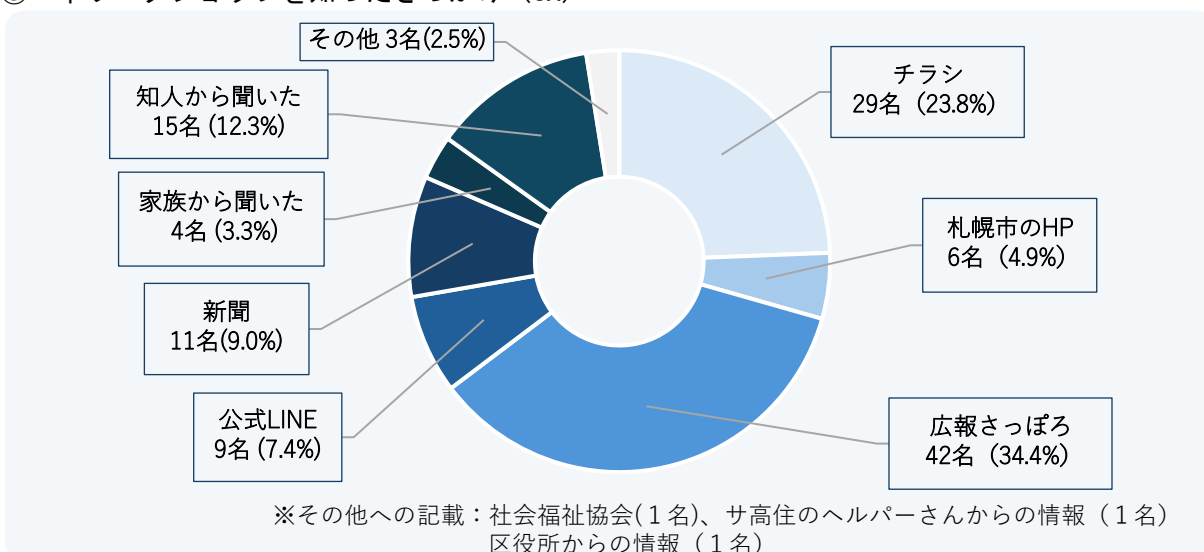
(N=122)



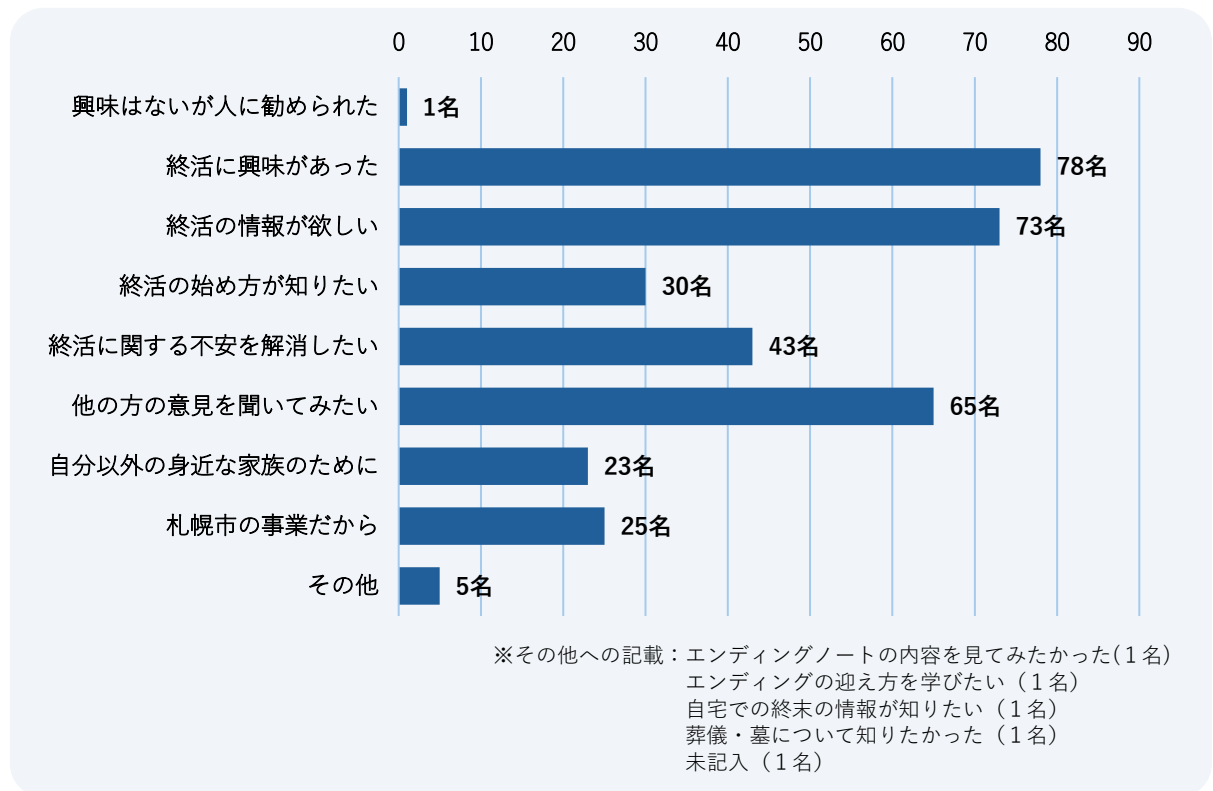
② 終活への取組状況 (SA) ※



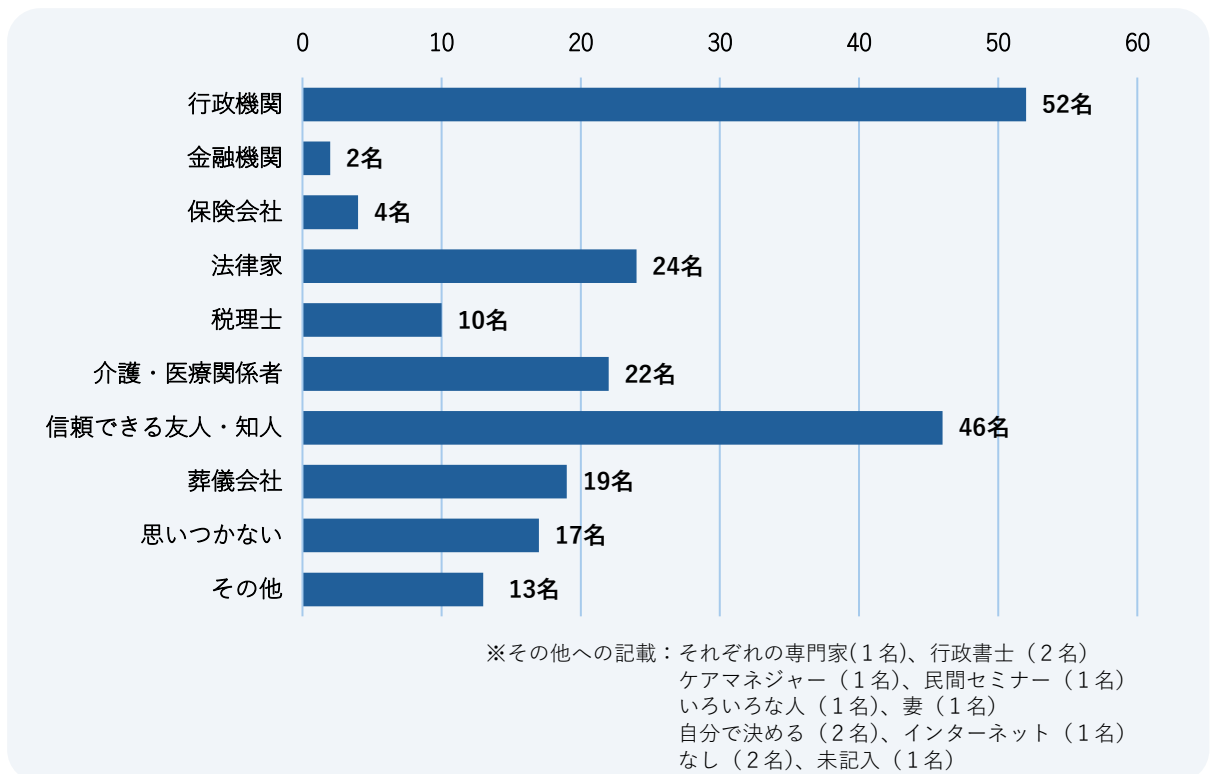
③ 本ワークショップを知ったきっかけ (SA)



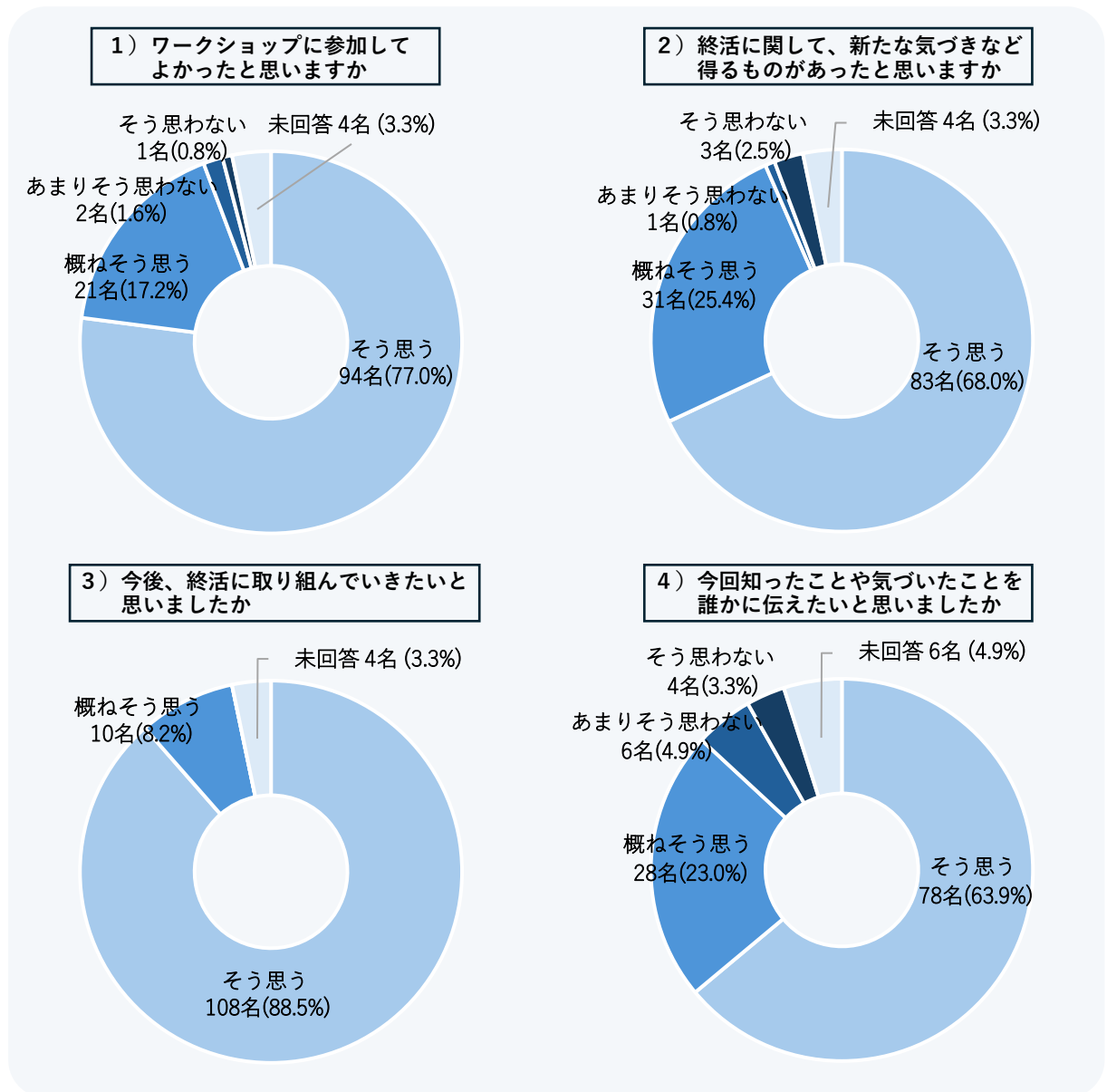
④ 本ワークショップに参加した理由 (MA)



⑤ 終活の相談相手 ※家族・親族以外 (MA)



⑥ ワークショップに対する満足度 (SA)



⑦ 自由記載 (FA, n=91)

分類1	数	分類2	数
感想・意見	80	「楽しいワークショップで満足した」等の全体的な肯定的感想	14
		「様々な声が聞けて勉強になった」等の学習活動全般への感想	48
		「これから終活を始めてみたい」等の終活への意欲向上	11
		本ワークショップに対する不満等	1
		本ワークショップに対する改善案等	6
終活促進に向けて	9	行政に対する終活促進のアイデア・意見	7
		行政以外に対する終活促進のアイデア・意見	2
その他	2		2

※（参考）自由記載の全意見

性別	年代	状況	分類1	分類2	詳細
女性	80代以上	実行中	感想・意見	肯定的感想	大変楽しく過ごす時間ありがとうございます。
女性	70代	実行中	感想・意見	肯定的感想	楽しかったです。ありがとう。
女性	70代	実行中	感想・意見	肯定的感想	自分だけでなく、他の人も同じように悩み実践していることを知り、少し自信がもてました。ありがとうございます。次回も機会があったら参加したいです。
女性	40代	実行中	感想・意見	肯定的感想	札幌市（行政）がこのような事業を始めた、ということがとても意義があると思います。
女性	70代	準備中	感想・意見	肯定的感想	楽しく参加させていただきました。勝手なこと言わせていただいて申し訳ありません。
男性	70代	準備中	感想・意見	肯定的感想	本日は大変良い研修でした。今後も参加を希望する。
女性	60代	準備中	感想・意見	肯定的感想	グループの係の方たちが親しみやすくて良かった。詐欺事件が多い中、ちょっと心配な面もあった。
女性	70代	勉強中	感想・意見	肯定的感想	大変良かったです。
女性	50代	勉強中	感想・意見	肯定的感想	参加してよかったです。
女性	70代	勉強中	感想・意見	肯定的感想	ファシリテーターの方々の進行がすばらしく大変有意義な時間でした。ありがとうございます！
女性	80代以上	勉強中	感想・意見	肯定的感想	今回偶然見た新聞紙上で参加問合せしたところ定員オーバーで、数日後わざわざハガキをいただいて参加出来て良かったです。今後も機会があったら応募したいと思います。ありがとうございます。
女性	80代以上	勉強中	感想・意見	肯定的感想	ありがとうございました
女性	80代以上	勉強中	感想・意見	肯定的感想	至らない私の話を皆真剣に聞いてくださり感謝の気持ちいっぱいです。有難うございました。
女性	50代	勉強中	感想・意見	肯定的感想	とても楽しかったです。テーマが暗いので心配でしたが、スタッフのおかげで良かったです。
女性	60代	実行中	感想・意見	学習への感想	いろいろな方の意見を聞くのは気づきあいよかったです
男性	70代	実行中	感想・意見	学習への感想	自分の知識の再確認が出来て良かったです。これからも勉強したいと思います。
女性	70代	実行中	感想・意見	学習への感想	多くの人たちの多くの意見や考えを知ることができてたいへんよかったです。
女性	70代	実行中	感想・意見	学習への感想	多くの方の様々なお話が聞いて参考になり少し安心もしました（考えてらっしゃる事に共通点ある）。お世話になりました、ありがとうございます。
女性	50代	実行中	感想・意見	学習への感想	参加してとても勉強になりました。友人にもすすめてみます。色々ありがとうございました。
男性	80代以上	実行中	感想・意見	学習への感想	参考になりました。
男性	80代以上	実行中	感想・意見	学習への感想	いろいろな事例を聞くことが出来てよかった。自分の状況と比べ安心したり、考えないとならない事がわかりよかった
女性	70代	実行中	感想・意見	学習への感想	参加者自身の具体的な意見が聞けたことは大切な資料になりました。
女性	40代	実行中	感想・意見	学習への感想	ファシリテーターがとても良い形で進めてくださいました。他の方からの意見や考えを聞くことができて、自分自身がどんな選択をするかのヒントをいただいた気持ちです。ありがとうございました。
男性	70代	実行中	感想・意見	学習への感想	自由に意見を出すことができ、同じグループの人の具体的なお話を聞くことができ、有意義であった。
女性	50代	実行中	感想・意見	学習への感想	他の方の細かな意見を聞いて新たな気づきを得ることができました。
女性	30代	実行中	感想・意見	学習への感想	ファシリテーションが上手でスムーズにワークショップが進行されたと感じます。沢山の意見を聞くことが出来て大変参考になりました。
性別	年代	状況	分類1	分類2	詳細

未回答	50代	準備中	感想・意見	学習への感想	年代の違う方、親の年齢に近い方の意見や思いが聞けてよかった
女性	60代	準備中	感想・意見	学習への感想	勉強になりました。ありがとうございます。
男性	50代	準備中	感想・意見	学習への感想	色々な方のお話を聞くことができ、とても充実した時間でした。
女性	60代	準備中	感想・意見	学習への感想	参考になることも多く、他の人の様々な意見を聞くことができました。ありがとうございます。また機会があれば是非参加したいです。
女性	60代	準備中	感想・意見	学習への感想	参加者の方々の意識の高さがうかがえて大変良かったです
女性	70代	準備中	感想・意見	学習への感想	初めての方でも話が出来た事は大変良かったです
女性	70代	準備中	感想・意見	学習への感想	大変参考になりました。心の中が少し軽くなりました。ありがとうございます。
男性	70代	準備中	感想・意見	学習への感想	とても参考になりました。
女性	70代	準備中	感想・意見	学習への感想	同じような立場の方々の実体験の話は参考になった
女性	70代	準備中	感想・意見	学習への感想	個人では思いつかなかった事に沢山気づきがあり参考になりました。ありがとうございます。
女性	60代	準備中	感想・意見	学習への感想	本日はとても勉強になりました。札幌市がこのようなセミナーを催されたこと感謝いたします。ワークショップで様々な意見を伺えたこと良かったです。これからも終活についてどうぞよろしくお願い致します。
女性	70代	準備中	感想・意見	学習への感想	いろいろな意見を伺えて勉強になりました。有難うございました。
女性	70代	勉強中	感想・意見	学習への感想	家族以外で話した事はあまりなく有意義な意見を聞いて大変良かったと思います。ありがとうございました。
女性	50代	勉強中	感想・意見	学習への感想	実践している体験した話を聞いて良かった
女性	60代	勉強中	感想・意見	学習への感想	グループワークに分かれてとても貴重な経験になり勉強になりました。ありがとうございます。
女性	60代	勉強中	感想・意見	学習への感想	終活を進めている方が多いことに刺激を受け大変良かったです。
女性	60代	勉強中	感想・意見	学習への感想	ワークショップでおしゃべりの中で情報を得ることができ良かったです。
女性	60代	勉強中	感想・意見	学習への感想	感じていること（終活について）は他の人も同じだと思いました。参考になりました。ありがとうございます。
女性	70代	勉強中	感想・意見	学習への感想	大変勉強になりました。札幌市のラインを大変活用しております。行政が身近に感じました、ありがとうございます。正しい情報の発信を願っております。
男性	40代	勉強中	感想・意見	学習への感想	他の人と話す機会があまりないので、それだけでまず良かったです。
女性	70代	勉強中	感想・意見	学習への感想	皆様のいろいろな考え、思いを聞くことができ楽しく良かったです。
女性	50代	勉強中	感想・意見	学習への感想	市で行っている事業なので安心して参加できました。いろいろお話を聞けたり、資料を見ることができ勉強できました。ありがとうございます。
女性	70代	勉強中	感想・意見	学習への感想	色々な御意見を聞くことが出来ました。大変良かったです。
男性	70代	勉強中	感想・意見	学習への感想	他の人の意見を聞いて情報として勉強になった。このようなワークショップ開催をたびたび開いてほしい。
女性	60代	勉強中	感想・意見	学習への感想	同じ様な年代の方々の考え方や準備方法などを知る事が出来、大変参考になりました。
女性	40代	勉強中	感想・意見	学習への感想	色々な意見を聞くことができ、大変勉強になりました。
女性	60代	勉強中	感想・意見	学習への感想	骨の行き場をどうするか…知りたい情報や法律の事等が収集出来ました。葬儀の事も他のグループからの課題から「あぁ」と思う事があり、有意義な時間でした。ありがとうございました。
女性	80代以上	勉強中	感想・意見	学習への感想	あまり考えた事のない事が聞けて良かったと思います
女性	70代	勉強中	感想・意見	学習への感想	とても参考になりました。自分の知らない事も沢山有るので勉強になりました。有難うございました
性別	年代	状況	分類1	分類2	詳細

女性	50代	勉強中	感想・意見	学習への感想	グループで意見交換、また発表など、得ることが多かったです。有意義な時間をありがとうございました。
女性	60代	勉強中	感想・意見	学習への感想	ワークショップ形式ということで自分の意見を言うのが苦手なため心配でしたが、少人数で上手く進めてくださるファシリテーターの方がついてくださったおかげでとても有意義な経験をさせていただきました。本当に勉強になりました。
男性	70代	勉強中	感想・意見	学習への感想	前回の厚別で大変良い学習ができ、今回はさらに大変勉強になりました。
男性	70代	勉強中	感想・意見	学習への感想	他の人、グループの人たちの考えなど知り良かった。一方的に聞くよりも理解度に違いが出ることも理解した。ありがとうございます。
女性	70代	勉強中	感想・意見	学習への感想	まだまだ不足している事ばかりでした。
女性	60代	勉強中	感想・意見	学習への感想	同じグループになった人達の話がとても参考になりました。いろいろな人生があり、考え方があと実感しました。
女性	70代	勉強中	感想・意見	学習への感想	エンディングノート、実際に手にできて良かったです。勉強になりました。ありがとうございました。
男性	70代	実行中	感想・意見	意欲向上	今回の参加で新しい気づきもあり、これからの人生に生かしていきたい。
女性	70代	準備中	感想・意見	意欲向上	元気なうちに動けることから始めたい
男性	60代	準備中	感想・意見	意欲向上	皆様ご自身のことをまじめに考えていらっしゃいました。私も具体的に準備したいと思いました。またこのような企画をしてもらいたいです。
女性	60代	勉強中	感想・意見	意欲向上	とても楽しいワークショップでした。エンディングノートは鉛筆でどんだん書いていこうと思いました。
女性	60代	勉強中	感想・意見	意欲向上	興味本位で参加したが意外にも本格的に準備が進んでいる方もいてびっくりした。もっとまじめに取り組み前向きに実行したいと思う
女性	40代	勉強中	感想・意見	意欲向上	エンディングノートは持っていたのに書いていませんでした。今度こそ書きたいと思うのと家族にも書いてほしいなと思いました。
女性	70代	勉強中	感想・意見	意欲向上	かなり終活を進めている人もいてすごいと思った!!私もぜひ参考にしたいです
女性	80代以上	勉強中	感想・意見	意欲向上	色々手紙で書いてみます。
女性	60代	勉強中	感想・意見	意欲向上	まずは1日1個捨てることから始めよう!そして老後も楽しく過ごせるように、体も心も健康でいたいです。
女性	70代	勉強中	感想・意見	意欲向上	“老い”との向き合い方を考えて、自分はまだまだ甘いのだと認識しました。もっと具体的に進めていく必要があると思いました。
男性	70代	勉強中	感想・意見	意欲向上	老人クラブに入っていますが、今回の話を伝えたい。
女性	60代	実行中	感想・意見	改善案等	具体的な情報(施設など)を知りたかった
女性	80代以上	実行中	感想・意見	改善案等	札幌市がようやく動き始めました。今のワークショップは最大“キーパーソン”のいない方の対応が大事で甘すぎます。
男性	60代	準備中	感想・意見	改善案等	大変良かったです。希望ですが、お一人様のワークショップ開催を願います。
女性	60代	勉強中	感想・意見	改善案等	テーマは1つずつで良いのでは。中途半端で終了するのはせつかくの試みが無駄になると思います。
女性	70代	勉強中	感想・意見	改善案等	もっと時間があると良かったです!明日、息子が来るので少しでも話ができるかな...と思ってます。今日は参加出来て大変良かったです!!ありがとうございました。
女性	60代	勉強中	感想・意見	改善案等	グループワークの時間をもっと取り意見交換をしたかった。他グループの状況をもっと知りたかった。
男性	70代	勉強中	感想・意見	不満等	結論の出ぬ話、個人の話はいらぬ、グループワークの悪い点、自分のことばかり。
女性	70代	実行中	終活促進	行政に対し	同じ考え方をお持ちの方に出会えた事です。役所の方でも考えてほしいと思います。終活について。
性別	年代	状況	分類1	分類2	詳細

女性	60代	実行中	終活促進	行政に対し	札幌市主催の終活セミナー、今後もあるといいなと思いました。
男性	80代以上	実行中	終活促進	行政に対し	行政がもっと細かな情報提供願えればありがたいです。
女性	70代	準備中	終活促進	行政に対し	通年企画：これから高齢者及びその子供たちへの人生設計に来年といわず、通年企画を希望します。
女性	40代	勉強中	終活促進	行政に対し	「いつから始めるか」のタイミングは年齢ではなく、きっかけがあればいつからでもできることだと感じました。きっかけづくり（セミナーなど）を行政が行うのも有効だと思いました。
女性	50代	勉強中	終活促進	行政に対し	行政機関の地域センター連絡所など近所の歩いていけるところに終活の相談窓口があるとよいという意見が出て、その通りと思いました。例えば、行政書士の法律家が常に対応してくれるようにつないでくれるとよいと思いました。
女性	50代	勉強中	終活促進	行政に対し	とても充実した会で色々な意見が聞けてこの会に参加して良かったと思いました。こういった集まりを1年に1度じゃなく、半年に1回程度あってもいいなと思いました。
男性	60代	実行中	終活促進	一般	各分野の専門の人を集め、このような会を催したら有意義なことになるかも。
女性	60代	実行中	終活促進	一般	終活はもっとオープンに日常的に会話できるようになれば良いと思う
女性	80代以上	実行中	その他		四つの議題についてすでに取り組んでおり、済ませている（老後の迎え方、葬儀スタイル、葬儀社、お墓じまい）。家財整理については実行中
男性	60代	実行中	その他		配布資料文中の様々な広告の真偽、正当性はどうか？行政から民間から、いろいろな終活アプローチがある。一人の高齢者に対し、情報の整理、行政サービスの整理をする人、機関はどこなのか？